

中九州横断道路竹田 I C 開通記念企画

# 「“みち”がつなぐ歴史と風景・“みち”が創る“まち”の未来」

九州横断の道やまなみハイウェイ展



平成31年1月21日～2月22日

※平日のみ開館（土日祝日は閉館）

展示時間：10:00～16:00

入館無料

久住高原美術館（竹田市久住支所3階）

〒878-0201 大分県竹田市久住町大字久住6161番地1 TEL.0974-76-1111

中九州横断道路・大野竹田道路（朝地竹田間）が平成31年1月19日に開通。竹田インターチェンジが供用開始しました。

遡れば、1964年に開通したやまなみハイウェイ（主要地方道11号）も、過去九州内で沿線地域のまちづくりに大きく影響を及ぼした道路のひとつです。そこでこの日本風景街道に「九州横断の道やまなみハイウェイ」として登録された沿線（列府市、由布市、九重町、竹田市）のくじゅうブロックにある「久住高原美術館」で久住支所保管の過去の新聞記事や所蔵資料の展示を行います。

《※昭和初期、現在の国道442号線沿線の景色に魅せられて訪れた文人たちの紹介や昭和中期、九州横断道路建設にかかる新聞記事等》

風景街道、中九州横断道路のPR及び過去の記憶から道路とまちづくり、またそれに伴うひとづくりについてもう一度考えていきたいと思えます。

国道442号（竹田市久住町）より冬の阿蘇五岳を眺める

主催：竹田市・久住高原美術館

協力：国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所・道の駅たけた

# 久住美術館企画展「“みち”がつなく歴史と風景・“みち”が創る“まち”の未来」

九州横断の道やまなみハイウェイ展 平成31年1月21日～2月22日

良いまちづくりが行えたのは、道づくりを望むことに加え、自分たちのまちをよくするという郷土愛に満ちた方々がいたからです。

今回、中九州横断道路が竹田市へ延び、開通することによって、チャンスが広がることとなりますが、この企画展を通じて先人たちが、“みち”を通して“まち”の未来につなげようとした足跡を振り返り、その感動を皆様と共有できたらと思います。（開催にあたって一部抜粋）

竹田市長 首藤 勝次

## 《展示内容の紹介》

【“道” 中九州横断道路】中九州横断道路建設に関するパネル展示

【“道” 久住歌碑めぐり】

国道442号線沿いには昭和初期久住を訪れた北原白秋、与謝野寛・晶子夫妻、徳富蘇峰、野口雨情などの歌碑が建てられています。訪れた人たちに関する資料（歌碑めぐりマップ、写真、直筆の書等）展示



昭和初期、与謝野寛、晶子夫妻が久住を訪れました。  
南登山口にある夫妻の歌碑

【別府の油屋熊八と久住の工藤元展】



昭和初期、多くの文人たちを招待、案内した別府の油屋熊八と久住の工藤元平展を同時開催

【“道” 久住の昔の道・風景】

大正～昭和初期の久住町の道、町並みを写真で紹介



昭和初期  
久住町  
下町  
本町

【“道” 九州横断道路】

昭和39年に開通した九州横断道路に関する資料（当時の新聞記事、絵はがき等）展示



九州横断道路 やななみハイウェイ観光絵葉書

### 観覧時の注意事項

- ・電子機器（携帯電話等）の使用はご遠慮ください。・館内での写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・お車でお越しの際は、冬用タイヤなど積雪対策等十分注意してください。
- ・展示内容等主催者の都合で変更になることがあります、あらかじめ、ご了承ください。
- ・美術館内は飲食はできません。・動物の入館はできません。・建物内は全面禁煙です。
- ・館内では、他のお客様の迷惑になるような行為はお控えください。
- ・館内では、係員の指示に従ってください。
- ・館内では、美術作品の保全、鑑賞環境維持等のために、スタッフが「お声がけ」する場合があります、ご了承ください。
- ・気候によっては寒く感じられる場合がありますので、体温調節しやすい服装でのご来館をおすすめします。

## 久住高原美術館

久住町役場の議場として使用していたが、2005年（平成17年）に市町村合併により、久住支所庁舎となる。議場が使用しなくなったので、一部改装し久住高原美術館として2016年4月オープン。



お問合せ：竹田市建設課 玉来ダム・中九州横断道路推進対策室 TEL0974-63-1111（内線249）